

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト3
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート制作コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	内容に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	富樫咲子		実務経験の有無・職種	有・プロモーター	
学習目的					
多様化するコンサート・イベント業界に対応する為に1年次に学んだコンサートの基本をより高度なものに高める。臨機応変な対応やトラブル対応など、実務として即戦力になれる力を身に着ける。コンサートの制作と運営の違いを学び、一つの公演を行うためにどれだけのスタッフが必要か、制作としての役割と運営としての役割を実際のコンサートを行いながら実践的に習得する。効果的な宣伝を行うにはどのようにしたら良いか、学校内はもちろん学校外での流行や動きを積極的にリサーチし、得たものを形にし実行する。チームディスカッションやチームごとの学習を多く取り入れ、自分が伝えたい事をより明確に相手に伝えるためにはどのようにしたら良いか、自分で考える事が習慣づくようになる。					
到達目標					
学校内での施設はもちろん、学校外の会場も使用し、1年次に培った経験を個々が活かし、円滑なコンサート運営を目標とする。ファンクラブ、グッズ、予算管理、チケット管理、客入れ客出しプラン作成、出演者とのやりとり、場内場外警備プラン作成、ロビー展開の考案、危機管理対策、コンサート運営に関するマニュアル作成とシミュレーション実施まで、チーム内で意見交換しながら作り上げていく。舞台・照明・PAなどテクニカルコースの学生を制作として統括するために、各セクションの役割を基礎実習で得た事を十分に活かしながら進行する。					
教育方法等					
授業概要	企業と手を組み、より本格的、多種多様なイベントへの参加で経験値を積む。 同時に複数のイベントを行い、より実務に近いカリキュラムを構築、実施				
注意点	音楽だけでなく演劇やアイスショーなど「エンターテインメント」全般の観劇や映像作品を鑑賞。 PCで扱うイラレ、フォトショップなどの応用。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	春期課題、夏期課題提出と内容を評価する		
	小テスト	10%	担当した出演者名や会場名、公演コンセプトなど理解度を確認する為に抜き打ちで実施する		
	レポート	20%	理解度を確認する為に実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	50%	積極的な授業参加度、発表方法や内容・言葉遣いなどによって評価する		
	平常点	0%			
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ライブ実習 1		新入生歓迎ライブ (公演概要書完成、チラシ・ポスターデザイン立案)		
2回	ライブ実習 2		新入生歓迎ライブ (客入れ客出し方法を現場で実際にシミュレーションを行なった上で決定)		
3回	ライブ実習 3		新入生歓迎ライブ (出演者用弁当を学校周辺やネット等で探して決定、ケータリング内容考案)		
4回	ライブ実習 4		新入生歓迎ライブ (場内警備・誘導方法を提案後、現場でシミュレーションを行い決定させる)		
5回	ライブ実習 5		新入生歓迎ライブ (チケット券面の校正、配布枚数・配布箇所を確認、チケット管理する)		
6回	ライブ実習本番		新入生歓迎ライブ (他コースとの打ち合わせを実施、確認と共有をしっかりと行う)		
7回	資料作りに関する授業		運営マニュアル作りやアンサーシート等に必要な知識やスキルを学ぶ		
8回	外部会場の使用方法・構造についての授業		マイナビBLITZ赤坂・TSUTAYA O-EASTなど、会場の特性や運営方法・禁止事項を学ぶ		
9回	ライブ実習 6		サマーライブ (班分け・役割決め・公演概要書完成・収支表作成)		
10回	ライブ実習 7		サマーライブ (会場下見・運営方法決定、宣伝資料作成・宣伝場所出し)		
11回	サマーライブ 1本番		サマーライブ (新歓ライブよりも個々のレベルを上げる、入場料有料公演での対応)		
12回	サマーライブ 2本番		サマーライブ (全体の動きを見ながら自分の動きを考える、入場料有料公演での対応)		
13回	ライブ実習 8		サマーライブ (反省会・報告書作成、サマーライブ3のシミュレーション)		
14回	ライブ実習 9		サマーライブ (制作・運営のシミュレーション、タイムテーブルに沿って動きを最終確認)		
15回	サマーライブ 3本番		サマーライブ (イベント要素も取り入れ、ライブとは少し違う雰囲気の楽しい場面を作る)		